

## 温暖化ガス排出権の取得について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、地球温暖化防止に向けた取組みの一つとして、このたび、日揮(株)・丸紅(株)・大旺建設(株)が共同出資、設立したJMD温暖化ガス削減株式会社(本社:東京都千代田区大手町二丁目、社長:篠田裕介、以下「JMD」)との間で、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)換算で150万トンの排出権を同社から取得する契約を締結いたしました。
2. JMDは、中国浙江省にある代替フロン製造工場で排出されている地球温暖化フロンガスの回収・分解を行うCDM(Clean Development Mechanism:クリーン開発メカニズム)事業を計画しております。これは、CO<sub>2</sub>換算で総量4,000万トンという規模の排出権を温暖化フロンガスの分解により獲得するもので、本年3月3日に国連CDM理事会で承認されました。
3. 今回当社が取得した排出権は、上記プロジェクトから得られるもので、契約期間は2008年1月から2013年6月までとなっております。これにより、当社は、京都議定書第1約束期間内(2008年~2012年)に、当社の年間温暖化ガス排出量の7%程度に相当する30万トン-CO<sub>2</sub>/年の排出権を獲得することになります。
4. 当社は、地球環境問題への対応を重要な経営課題として位置付け、製油所における省エネ設備の導入や森林保全活動の実施による温暖化ガス排出量の削減に取り組むほか、日本温暖化ガス削減基金への出資等を通じて地球温暖化対策に取り組んでおります。

以上

### ● (参考)JMD温暖化ガス削減株式会社の概要

- (1)本社:東京都千代田区大手町二丁目2番1号
- (2)社長:篠田 裕介
- (3)資本金:3千万円(株主構成:日揮47%・丸紅43%・大旺建設10%)
- (4)設立:2005年4月
- (5)事業内容:HFC23(代替フロン)を回収・分解事業で取得する排出権の購入・販売